

第1回 まちづくり常任委員会会議録

令和8年1月16日(金)

委員会 議 室

○会議日程

- 1 開会宣告(10時40分)
- 2 調査事項
 - (1) 大型建設事業の実施に伴う今後の財政推計について
 - (2) 総務企画課所管
 - ① 幌延町多世代交流施設整備事業基本計画。基本設計業務の進捗状況について
 - ② 株式会社ユーラスエナジーホールディングスによる地域貢献について
- 3 その他
- 4 閉会宣告(13時54分)

○出席委員(8名)

委員長	4番	高橋秀之
副委員長	1番	高橋秀明
委員	2番	佐藤忠志
委員	3番	深澤博之
委員	5番	植村敦
委員	6番	無量谷隆
委員	7番	斎賀弘孝
委員	8番	西澤裕之

○出席説明員

町長	野々村仁
副町長	岩川実樹
教育長	伊藤一男
総務企画課長	早坂敦
総務企画課参事	山本基継
教育次長	古草勝

総務企画課長補佐 梶 淳

社会福祉係長 清水和也

○議会事務局出席者

事務局 長 岡田英樹

高橋秀之委員長

本日の出席委員は8名です。

定足数に達しておりますので、ただいまより、第1回まちづくり常任委員会を開会します。

始めに、町長より御挨拶をお願いします。

野々村町長

本日の臨時会に続き、まちづくり常任委員会を開催していただき、ありがとうございます。

大変お疲れのところだと思いますけども、皆様からお話があった、シミュレーションをした状態ということ自体で、副町長の方から説明をさせていただきますので、それぞれ、意見交換等を今後重ねていって、この後、どういうふうに判断するかっていうのは町が最終判断をさせていただきたいなと、そのように考えておりますので、よろしく願いしたいと思います。

高橋秀之委員長

ありがとうございました。

それでは調査事項に入ります。

調査事項(1)「大型建設事業の実施に伴う今後の財政推計について」の説明をお願いします。

岩川副町長

11月のまちづくり常任委員会で、義務教育学校と多世代交流施設の進捗状況について御説明させていただきましたけども、そのときに、今後のこの事業を実施した場合の財政シミュレーションについて提示せよということで要求されておりましたので、ちょっと試算をしてみましたので、今日、それを御報告させていただきます。

資料につきましては、お手元にお配りしていますA3の資料の右上にB-1っていう3枚目のB-1というやつ、閉じ方があれかもしれないですけど、とにかくB-1というの、紙で御覧なってください。

そしてモニターの画面も同じものを出しておりますので、モニターを御覧になっていただければと思います。

それで、ここのモニターのところで、この棒グラフのところですね、これについては各年度の性質別予算、これを表しています。

令和9年度には突出してと思いますが、ここに8、9、10という形で大型事業が含まれているんですが、ここのモニターの緑色の部分が普通建設事業費です。これはもう9年度、突出してるという状況になっています。

それと茶色の部分が公債費、いわゆる借金の返済額を表しています。ですから、ここから令和10年度あたりから借金の返済が始まっていくので、少し茶色部分が増えていると思いますが、大体10年間で返済するというような、今のところ計画で、これはちょっと10年なのか12年なのかっていうのはこれから流動的ですけど、今日のところは10年間の償還ということで設定しています。

それと、この黒の折れ線グラフですね。これについては基金現在高、これを示しています。

それと赤の折れ線グラフ、これについては地方債残高、いわゆる借金の部分です。

黒は貯金の部分というような形になって、もう一目瞭然です。

この事業をすることによって、当然、借金残高は増えて、徐々に返済とともに下がっていくんですが、今ある幌延町が持っている基金、この1番下の方に、この基金現在高と地方債残高っていう、貯金の部分と借金の部分を数値で示していますけども、今、現在、令和7年度末で基金だとか備荒資金の残高合わせて基金等残高とここでは読んでますけども大体65億ぐらい持っているんですが、それが5年後、令和12年ぐらいには、もう底をついてしまうような状況になりますというのが、今回のシミュレーションの結果です。

ここで令和13年度以降はもう基金はほぼほぼ無くなってしまうというような状態です。

これ歳入を入れた表ですけども、歳入、歳出の単年度収支、これはもう令和13年度から基金も無くなるので、単年度収支が歳入欠陥を起こすと、この赤字の部分ですね。ここについては歳入欠陥を起こすような状態になります。予算が組めなくなるというような状況を示しています。

ただし、この前提としては、今まで、それぞれ性質別に人件費扶助費、物件費、維持管理費、補助費、普通建設事業費、繰出金、公債費ってあるんですが、これ今までどおりの財政運営をしてきた場合には、こういった形になりますよっていうのがこのシミュレーションです。

ですから、以前行革やったように、少し行革なんかをやって歳出を絞っていくことによって、ここの計っていうのは少し改善の余地はあるのかなというのが、この表があらわしてる部分です。

取りあえず今の財政状況とこれから大型事業をやった場合にどのようになるのかっていう、それと大型事業については取りあえず仮置きですけども事業費は学校77億、多世代交流施設は28億で試算しています。

取りあえずここまでを説明とさせていただきます。

高橋秀之委員長

暫時休憩します。

(10時49分 休 憩)

(11時43分 開 議)

休憩を解いて会議を再開します。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手の上、指名を受けてからマイクのスイッチを押してから発言してください。

それでは、ただいまの説明について何か質問ありませんか。

(一同無言)

ないということなので、大型建設事業実施に伴う今後の財政推計についての件は以上とします。

13時5分まで休憩します。

(11時43分 休 憩)

休憩を解いて、会議を再開します。

次に調査事項（２）総務企画課所管「幌延町多世代交流施設整備事業基本計画・基本設計業務の進捗状況について」の説明をお願いします。

山本総務企画課参事

それでは私の方から幌延町多世代交流施設整備事業基本計画・基本設計業務の進捗状況について御説明いたします。

令和７年１１月に開催された常任委員会までは公募型プロポーザルにより基本計画の策定支援と基本設計を行う業者の特定を行って委託契約を締結しました。

そして、事業実施によって、役場接続断念ですとか敷地面積の拡張、施設へ機能移転を行う団体等の整理をしましたという旨説明して、概算事業費と現時点における平面図を示しました。

その際、常任委員会で常任委員長からは、事業実施後の財政状況を踏まえた多世代交流施設の整備について説明するよう求められたところです。

それから、いろいろ検討を進めてまして、現時点での概算事業費は前回の常任委員会でも説明しましたとおり、建築平米単価９０万円今見込んでます。

施設の建築費だけで２４億円、建設するのに全体で２７億円ぐらい掛かるかなってというのは説明したところです。

基本構想でも概算事業費ではないんですけれども、目安として１４億円程度っていうことで示しているんですけれども、その時点からも今高額になるということで、現在、町の財政状況に基づいて整備内容を再度検討しているところです。

そのため、令和７年度内に基本計画を樹立することは難しいので、引き続き令和８年度においても、基本計画で基本設計業務を行おうかなってというのは、今のところ考えているんですけれども、先ほどの財政シミュレーションも踏まえて、今後、多世代交流施設をどうしていくのかっていうのも早急に決めないと、令和８年度も引き続き事業を行うということになれば、３月補正で工程が延期になりますんで補正予算発生するんですよね。ですから、早急に決めて、やるかやらないかを決めて、経費の掛からないような格好でやればなっていうのを今考えております。以上です。

高橋秀之委員長

ありがとうございます。

ただいまの説明について何か質問ありませんか。

西澤委員

今参事の話聞いて、今、例えばここの委員会に求められてるものっていうのが何なのか、この間、委員長が言ったことに対して、今、参事の説明があったんですけれども、この委員会として、何かこういう結論を出すみたいなのところがあるのかというところなんだろうかな。

高橋秀之委員長

今、昼前の話も絡んでくるんであれなんだけど、小中学校の関係がどういうふうになるかによって、多世代交流施設のやり方も変わってくるんじゃないかなって考えてるんです。

計画どおりにはいかないんじゃないかと、本心は。

だから小学校の方がある程度はっきりしておかないと、こっちの方も、こう行くっていうか、ある程度ざっくりだけど、こう行きたいっていうのは出てこないんじゃないかなっていう気がするんです、今回言ってるように、進捗状況だから、今の状況を説明してもらえれば今はいいのかなとは思っています。

そんな中に深く突っ込んだことを言っても多分答えられないと思うので、本当に今こういう状況ですよっていう説明に対して質問してもらえればと思ってますので、すいませんけどよろしく願いいたします。

質問ありませんか。

佐藤委員

創生会議ってやってるんでしょ。

創生会議のメンバーって当初からのメンバーっていうのは、その都度入替えをやってきて、何回か説明するのは創生会議の中でも持ってきてるんですか。

山本総務企画課参事

基本計画に対しては、まだお示しするものがないので、ある程度町の考え方っていうか計画、内容を固めてから図らないといけないので、基本構想のときは示していろんな意見もらいながらやってきましたけれども、今回まだ基本計画、示せるものがないので、開催はしてません。以上です。

佐藤委員

ここにも書いてるように、今後の流れの中に書いてあるんですけど、基本設計、素案造って、一応また創生会議にかけて、そして意見を頂いて、それからまた、こっちでやるってなるのか、流れとしてはそういうことになってくってことかい。

山本総務企画課参事

基本構想のときも同じなんですけれども、ある程度町で考え方を決めて、議会に示して意見を頂きながら、町で整備内容を決めて、その決めたものを素案として創生会議に諮って、創生会議でまた意見もらって、またそれを町に返してもらって、町で決めて、議会にお示しして、それからパブコメ、町で計画ですとか構想ですとか決めてからパブリックコメントをかけて、計画を策定っていうふうな、今そういうような流れになってるんですよね。ですから、ちょっと時間がかかるんですよ。

ですからどこの段階で何を決めるかっていうのは、最終的には計画ですとか構想というのは町で決めるものなんですよ。以上です。

高橋秀之委員長

よろしいですか。

ほかにありませんか。

深澤委員

先ほどの学校の話もそうなんだけど、シミュレーションをかけて、また多大なる経費がかかるということで、ここで事業計画の見直しっていう案が浮かんできたんですね。

それをね、議会に付されてもね、町の部局のね基本設計っちゅうか、基本構想も決まってないのにね、議会がね、提言することもちよっともうおかしいと思うんだよね。

たたき台ができてね、それを我々議論するにはやぶさかではないんだけど、やはり、先ほど来からね、順序っていうのがあって、一般家庭でもね、電化製品が壊れてさ、テレビと洗濯機壊れたときにね、両方買えないよねって言ったときに片方にするよね、決定するのに。それと同じようにね、町だって財政が厳しいんだらね、こっちが大事で、こっちはもう少し先送りして我慢してもらおうということの説明はできるけど、今2者選択じゃないけど、同時進捗っちゅうのはまずあり得ないんでないかって気がするんですけど、もう少し町がね、たたき台を作ってね、我々に話するんならまだしもね、何か今議会で決めたからってみたいな雰囲気と言われても、ちょっとナンセンスかなと思うんですけど、いかがですか。

野々村町長

確かにそうなんですけども、本当にこの課題がでかいんで、それぞれこれだけのメンバーそろって、いい知恵を頂いて、だから今までもたたき台として出してるやつが、ああいうスケールは大きいよねとか、そういう無駄なところをカットしようやとかっていう、そういう御意見で、一般の人たち、住民の方々の御意見でこういう話もしてるぞみたいなところでも寄せていただきながら、削っていける部分で、どういうことを、大事な部分だけ残すとかいうことになるのかっていうのに絞り込めるんだと思うんですよ。そういう話だけでもいいから、皆さんの声を聞きたいと。誰も決めてくれとは言わないです。ただ、そういう話してるぞみんなっていう、そういう話でもいいから寄せていただければ、いろんな形で絞っていけるんじゃないかなって。

せっかくあれが、皆さんから見て、まだ具体的にこうするっていうことがないからこれこうした方がよくなったっていうよりも、今や総事業費をどっかで圧縮せんきやないっていうことだから、どこかで削りながらとか、これを無くしてもこれだけはやっぱり置いてやろうやという御意見が必要なんだと私自身も思ってます。

必要な部分は風呂が耐震設計上ないのと、もう、ボイラーの交換時期に来ているということ。そういうことも言って、風呂だけはメインに上がってるけど風呂だけ、したら建て替えればこれでいいのかっていう話だとすると、風呂だけ単体に建てたとしても、結構いいお金になる。その追加にもうちょっとスペース的に利用したいということ、どんだけ盛り込むかっていうのは参考にさせていただきたいんで、率直な意見を、こうすれとかではなくて、そんな話聞いているぞって教えてもらえるだけでも我々としては大変判断しやすいかなということで、こういう俎上に上げさせていただいてるところでもありますので、お願いします。

深澤委員

一般町民というか私も含めてなんだけど、多世代はそんなあっちもこれもいらんんじゃないかと。取りあえず風呂だけは欲しいんだっていう声は聞いてますね。

野々村町長

ありがとうございます。

そういう話でいいですから、寄せていただきたいなと思ってます。

それでも、年配者の人たちはそういう今まで風呂あったところ、コミュニティーの場所でもあるっていうことで、そこはもう残すことと、無くなるわけですから、作ることはも

うやぶさかではなく、そこは必ず決まってるんで、それにプラス、どういう形で老朽化した障害者施設のそういうグループホーム、皆さん集まれる場所とか、元からある高齢者の皆さんが集える場所、今、たまたまそこに、お風呂の横にああいうスペースがあるから集まってるけど、そこ自体が使えないっていうことになると、その代わりになるものが必要なのかどうかっていうのも含めて、いろんな話が皆さんの方が耳に入ってると思うんで、そういう話を聞かせていただいて、今も風呂だけは必要だろうという、そういう力強いお言葉も大切な御意見ですので、寄せていただければと思っています。

深澤委員

私、個人的意見だよ。

ほかの施設ね、風呂以外の施設は、もしね、ほかに代替地として使える施設があるんであれば、それを有効利用するとかっていう考え方も必要でないかと思うんですね。

高橋秀之委員長

よろしいですか。

ほかにありませんか。

佐藤委員

我々議員として、町長さっきも、まちづくりをしていく中で、どうやって若い人が住みやすい、子育てしやすい老人は老人として、ちょっとした集まってお茶飲んだり、そういう場も確かにこれ町長の公約に入ってる形として、我々もやっぱりそういうまちづくりをして、幌延はこういう町だと、子育てもしやすい、若い人が集まって、ちょっといろんなおしゃべりしたり、子供連れてきて遊べる所もあるとか、これも一つのまちづくりとしてはやっぱり目指していかなきゃならない。ただ、これもやる、あれもやるとさっき言ったように、結論を見たらえらいことになる。ただやっぱり我々議員としても、ただ人減っていくのにただ見ていくのかと。じゃあ幌延に魅力って何があるんだとなったときに、やっぱりこういうものも必要なのかなと思って、それは自分も感じています。

ただこの町内の新年会の中でも、やっぱり学校はやらなきゃならんと、やっぱこれからね。ただ、風呂まであんなものまでやるのかと。だけど、それはそうなんだけど、やっぱり若い人のそういう要望もあるんだと。それもやっぱり含めて駄目だと頭から決めつけて、我々議員としての立場として頭から否定するわけにいかないんだよなって話はこないだ町内の新年会でもそんな話をしたんですけど、じゃあ予算間に合うのかと。財政どうなるんだと。それはね、これから詰めるものを詰めて、今、いろんな、教育委員会も町の方も、創生会議もちゃんとやってるんだということだったんだけど、そんなの聞いていくと、なかなか答弁できなかったんですけど、そういう中でやっぱり進めて行きたいのは自分でもあるんだけど、ただ財政がどういうふうになっていくのかと悩んでるところで、自分も何ともこういうところに会議来て、これ以上あれが出てこないんですけど、ただやっぱり町長としてのやっぱり腹構えも大事、町長自体のまちづくりとして町長がどう進めていくのか、まちづくりとして、そこら辺がやっぱり今深澤さん言ったように、やっぱり創生会議もあるだろうし、創生会議の中でどれだけ揉んできてるのか。

やっぱり、創生会議って一般の町民からも、全体の中から選ばれてきてるわけだから、若い人、中年、年配者、そういう中で意見もどういう意見なってるのか、それらをやっぱ

り、さっきみたいにちょっと聞いてみたいなど。だから、創生会議でやってきてるのかなと思って、最近。どうなんすか。参事。

山本総務企画課参事

創生会議自体、何か計画ですとか構想ですとかがないと開催しないんですよね。ですから町民の皆さんの意見を聞く場っていうのはやっぱり町政懇談会なのかなと思うんですけど最近、あんまり人は来ないですけど、そういう場がやっぱり大切なのかなと思います。

高橋秀之委員長

ほかにありませんか。

佐藤委員

どうしてもこの、この議会だけになってしまうもんだから、そこら辺がね、今言ったように若い人の世代のどこでも入ってって聞いているのか、老人クラブかどっかで聞いているのか、そういうのもやっぱり我々だけでもやっぱり限度があるんでね、まさか1軒1軒回って歩いて、どうなんだお前なんて聞いているわけにもいかない。何かの町内会の会合があるときに、こないだの新年会もそういうちょっと意見を出して、皆さんの意見、若い人も来てたから聞いただけであって、なかなか我々もその情報ってのはそんなに入ってこないということじゃないけど、そういう機会もないもんだから、そういうもうね、これからやっぱり、やっていって、どうやって吸い上げていくのか。

山本総務企画課参事

構想策定するときは創生会議の構成団体の何かの会合にお邪魔して、意見の聞き取りは、2か月ぐらいかけてやったんですよね。

構想に基づいて今計画を作ってる段階なので、意見の吸い上げっていうのは、その段階でいいのかなと思うんですけども、ここにきて事業費が5割増しとか2割増しとかがつてなった段階ではまだ聞いてはいないんですよね。

ですから、それが必要であるっていうのであれば、また同じような恰好で意見聞きに歩かなければならないかなと思うんですけども、ちょっと時間かけてやるのであればという形になってます。

無量谷委員

今深澤さんが言われてたように風呂だけでいいよって言うけど、今の現在ではね、風呂以外に畳の部屋っていうか老人の会合みたいな形でやってる部屋があるんだけど、それが何か今現在若い人もなかなかそこ行って、風呂入りに行かないんだけどそこを利用するっていうことがなかなかできない状況なんですよ。だからそれをもし建てる場合は、ああいうスペースを若い人から老人まで使えるような感じのスペースになってほしいなって感じがするんだけど、そういう考えとして、ある程度多目的になるのかなって感じはするんだけど、今の現状では、風呂入って、老人がちょっと風呂上がりの休憩所というような感じになっちゃってんだけど、なかなかそれが若い人が行って風呂入りに行かなくても利用ができないっていう状況なんだけど、それは、関係な使えるようにはした方がいいかなと。

山本総務企画課参事

そのような形で今構想も作ってますし、会合できる、今、便宜的に和室とはしているん

ですけれども、老人クラブの話聞いたらもう和室じゃなくていいよって話もあるので、それとは別にまた多目的で若い人が集まれる場所ってというような形に考えてはいます。以上です。

植村委員

いろいろと将来に向かって、この多世代交流施設、希望の持てる楽しい施設にしたい、一人でも多く利用できる施設にしたいという思いが、今まで、創生会議も含めて、担当した職員もそういった思いで構想を練ってきたということだと思うんです。

ところが、あれもこれもってことになってくると、建設費がかさんでくるという基本的な問題にぶつかってしまったと。根本的な問題にぶつかってしまったということが悩みの種でないかなと思ってます。

先ほども町長も言ってたんですけども、今の現状の風呂の状況からいっても、風呂だけは外せないんだということを言われましたけども、私は私なりに、当然風呂もそうなんですけども、今の町の沿岸バスのバス停の状況を見ると、やはり、もうちょっと冬も暖を取れるような、きちっとした建物の中にこのバス停を設置してほしいという願いっちゃうのは持ってます。

そのほかの部分を外していくということになると、果たしてこの、多世代交流施設という名前自体がどうなのということになってくると思うんですよね。

そこを大事にしてくとなると、やっぱり、今まで構想練ってきたような、多目的な交流の部屋がどうしても必要だということになってくるんじゃないかなと思うんで、その辺の作りをどうやっていくかという問題だと思うんですよね。

そして、これはもう私は一貫校も大事な施設だというのはもう重々理解はしてるんですけども、そういう面からいくと、この風呂の先送りという部分が果たして今の現状、大丈夫なんですかと。スキー場の二の舞なんなりませんかという気はしてます。

壊れたのは、風呂使えません、直すことも今構想してるんで3年待ってください、4年待ってくださいって話になりかねないんじゃないかなということ、私はちょっと気になってるところだと思います。

後は執行者の決断だと思います。

深澤委員

ちょっと、ボイラーのね、風呂の設備もし更新するとなったら、部品とかは多分ないですよ、もう古いから。

更新すると相当な金掛かる。どのぐらいかかる。

岩川副町長

ボイラーは取り換えないと。

今でも計画があるんで、ボイラーの更新はちょっと待ってくれて止めてますので、もしやるとすればボイラーだけでも新しくさせてもらいたいという気持ちは持ってます。

試算したことはないです。

深澤委員

建物自体はどうか。

山本総務企画課参事

昭和52とかですよ、確か。

休む所ですね。

平成14年に増築してるんですよ。

昭和時代にパントリーあって、昔あそこで保健師さんが健康相談とかやってたんですね。

利用も老人クラブの活動が活発であれば、月1とか月2とかでやるんですけど、今また何か違う方に行ってるじゃないですか。まちいちとか。そっちもあるので。だけど月1で老人クラブの健康相談は確かあそこでやってるんですよ。

老人クラブの数も昔と比べて減ったんですよ。下沼無くなっちゃったし、何かその絡みもあって、今あんまり使われていないような状況なんですけど、多分できた頃は、あそこで多分集まってたんだと思います。

高橋秀之委員長

ほかにありませんか。

(「ありません」の声あり)

ないようですので「幌延町多世代交流施設整備事業基本計画・基本設計業務の進捗状況について」の件は以上とします。

暫時休憩します。

(13時31分 休 憩)

(13時33分 開 議)

それでは、休憩を解いて会議を再開します。

次に、②「株式会社ユーラスエナジーホールディングスによる地域貢献について」の説明をお願いいたします。

梶総務企画課長補佐

それでは、私の方からお手元の資料1枚ものに沿って御説明いたします。

株式会社ユーラスエナジーホールディングスによる地域貢献についてということで、株式会社ユーラスエナジーホールディングスという会社がございます、そちらの子会社であります合同会社道北風力が稚内市、豊富町、幌延町の3市町で、道北風力発電事業ということで、計6か所の風力発電の設置を進め、令和7年2月をもって、最後となる6か所の風力発電所の設置が完了し、運転開始となったことを受けまして、本年度、令和7年度以降、風車運転期間中において、地域共生施策として風力発電所を立地する稚内市、豊富町、幌延町への地域貢献を実施することとなりました。

発電所の名称等については、真ん中ぐらいの表に記載したとおりでありまして、本町には浜里ウィンドファームということで、風車14基がオトソルイ風力発電所よりも北の所に2列にわたって設置されているという状況でございます。

2番目の令和7年度実施内容についてなんですけれども、ポツ三つございます。

一つ目のポツ、出生祝いについては、稚内市、豊富町、幌延町の3市町を対象とした事業で、新生児一人につき5万円分の商品券の引換券をユーラスエナジーが新生児誕生世帯に対して発行、配布するという事業になっております。

二つ目のポツ、図書寄贈についても、稚内市、豊富町、幌延町を対象に、子供たちの教

育、学習機会の拡充に役立てることを目的としておりまして、本町においては生涯学習センター、問寒別学習センターを含む、両生涯学習センターの図書室への図書が寄贈されるという内容でございます。

三つ目のポツ、エアコン寄贈については、問寒別小中学校、小学生の3教室、中学生の3教室、計6教室へ設置するものでございます。

出生祝いと図書寄贈については、この後、今年度内を目途に事業が進められ、エアコンについては設置が完了しております。

出生祝いと図書寄贈は次年度以降も継続して行いたいということでユーラスエナジーの方からは連絡が来ているところですが、それ以外に各種イベントへの協賛ですとか、それ以外の物品、予算の枠もある話ではあるんですけども、それ以外のものについてもユーラスエナジーと幌延、役場内各部署の方と、こういったニーズがあるのかというのを今も検討しているというような状況になってございます。

簡単ですが、地域貢献の概要についての説明とさせていただきます。

高橋秀之委員長

ありがとうございました。

ただいまの説明について、何か質問ありませんか。

深澤委員

レジメのところね、令和7年度以降、風車運転期間中ってあるんですけど、最終年度っちゃうか。

梶総務企画課長補佐

風車の運転期間というのは一般的に20年程度とされているんですけども、終わりの年度というのは明確に何年度っていうのは今のところなくて、風車があるうちはやっていきたいというふうな説明を受けておりますので、そのような御理解でお願いいたします。

深澤委員

図書寄贈ってあるんですけど、金額ってどのぐらいの金額。

古草教育次長

ユーラスさんの方から提示されてますのは10万円程度ということで、現在、生涯学習センターの方に配置すべく、児童生徒の有意義な図書を選書している最中です。

選書終わりましたらそちらの方を入れてもらうと、年度内に配置するという予定で進めております。以上です。

植村委員

これ7年度実施内容ということで出されています。

現在、出生祝い、これ7年度で商品券5万円分もらった新生児が何人ぐらいいるのか。それと、これ今当初10万円ということで、これ毎年10万円規模の図書を更新していくということなのか、お聞きします。

清水社会福祉係長

私の方からは出生祝いの方、お答えの方をさせていただきます。

こちらの方はまだ始まってはいなくて、年度内に実施するっていうことになってまして、対象が実施されれば7年の4月2日以降生まれた子を対象にっていうことになっています。

今のところ、うち、養育手当とかも支給してますので、大体今年度は12名ぐらいが対象になるんじゃないかというふうに見込んでます。

古草教育次長

当初の方につきましては、本年度は10万円相当ということで頂いておりますけども、来年度以降幾らというお話は聞いておりませんので、継続していただけるものであれば幾らでもというところでございます。

決まって毎年10万円ということでお話は伺っておりません。以上です。

植村委員

それと併せて問寒別小中学校のエアコン設置6台分っております。

これは通常のエアコンなんですか。今、本町の方で設置されている、小さいっていうか、そうじゃなくて本物のエアコン、それを6台設置するということなんでしょうか。

古草教育次長

問寒別の小中学校に寄贈されましたエアコンにつきましては、通常家庭用のエアコンになります。

ただ、100ボルト相当ですので冷房のみということですけども、100ボルトの普通のエアコンでございます。

設置したのは普通教室、小学校の1、2年生、3年、4年生、5、6年生の3クラス、それから中学校1、2、3の教室、三つの6台に既に設置をしております、12月中に設置が完了しております。以上です。

植村委員

分かりました。

もう既にこのエアコンに関しては設置されてるということで、1番最後のその他の案についても検討中ということ書かれてるんですけども、何か具体的に何を検討しているのか、情報をこちらから要望することなのか、それとも向こうから何か要望案を出してくるのか、どういうことになってるのでしょうか。

梶総務企画課長補佐

ユーラスエナジーの方からある程度、ほかの町、それからこの道北風力発電事業じゃない事業での自治体への寄贈の事例だとか、そういったものも御紹介いただき、幌延町さんの場合どうですかとかっていう打診を受けたり、単純に何か今欲しいものないですかとか困っていることないですかっていうのはヒアリング等々も含めて、こんなのもあったらいいのかなとかっていうようなお話を日々担当者レベルでやりとりしているというような状況でございます。

直近で話があったのは、例えば稚内市さんの消防の方に結構大きなドローンを寄贈したっていう事例があるんですけども、いかがでしょうかですとか、あと、こちら側の困り事というか、ちょっと困ってるかなっていうのは、イベントで使っているテントが古くなってきているテントやテーブル、椅子が古くなってきているんだよっていうようなお話をしたりとか、その辺で、具体的に幾らぐらいするんでしょうかっていうのは、金額面のやりとりをしたりとかっていうことで、そんなのがいろんな分野でありまして、最終的にどれにしようかっていうのを決めていくような形で進めています。

高橋秀之委員長

ほかにありませんか。

深澤委員

昨今ね、自然保護団体から鳥類の調査だとか（聴取不能）っていうあちこちなんかクレームがついて、調査すれとかって問題が起きてますよね。

浜里については問題ないんですか。

前に何か新聞報道でもそんなことあった気がするんですけど。

梶総務企画課長補佐

深澤委員おっしゃってるのはバードストライクの関係かなと思うんですけども、まさにこちらの風車で発生したもので、累計、11羽のオジロワシとオオワシのバードストライクが確認されたということで、その状況を受けて音を出す機械を設置したりですとか、動画で鳥が何メートル以内に近づいてそれ以降も何秒間そこに滞在し続けている場合には風車を自動的に止めるというような仕組みを導入が終えたところです。去年の12月ぐらいにですね。

ですので、今はその状況を見ながら運転しているというふうになっておりまして、バードストライクの報道等があったときには役場の方にも取材ですとかっていうのは、ちょこちょこっとあったんですけども、その後の対応としては、そのような鳥関係の専門の有識者で構成する会議もユーラスエナジーの方で開催して、対応策を進めているというような状況になっています。

深澤委員

反対してる声は収まったって理解していいのかな。

梶総務企画課長補佐

収まったかどうかちょっと把握しておりません。

深澤委員

その反対してる人も幌延の人でありますよね。

町としては、そういう対応の仕方っちゃうか反対派に向けてのこないんですか。

野々村町長

この対策自体が1番最初の第1歩がずっと遅れてて、我々知らなくて新聞紙上で知ったということで、怒って、役員の皆さんに来ていただいて、それぞれ話を聞いたということもあります。

知らないのに町の人からぎゃあぎゃあ言われても何の答えもできないよっていう話で、申し訳なかったということでやってきて、今対策をこうやって進めてるっていうときも今、梶君が話したとおりにやってきているということです。

実際問題、地元でも電話が何本か入るのは入るんですけども、なかなかそこって、うちらが実際主体的にやってるわけじゃないですから、他社ですから、そうお聞きしたことは、そういう旨お伝えしますぐらいで収めなきゃなんない話ぐらいしかないんだと思ってますけど、2、3日前もユーラスエナジーさんが来ていただいて報告を受けたそのときも、我々がイベントやったときも野鳥の会、来ていただいて、その人たちが釧路からの団体、本部的な力のある団体が来ておられて、そこに研究者っていうか、そういう方々の話をす

る機会があったときには、今までの対策で昼営業をやめて、昼間を全部営業止めてやってくれたのは今までなかったと。梶延さんの方ではすごいですよね、そういう対策してくれるんですねっていう話を、いや我々がするわけじゃないんですけど、ユーラスさんの方では、そこに大きな話になっても困るから、対策ができるまでは昼間は止めるという話は聞いてますっていう話をしたら、いや、対策が大したいいですっていう、その人たちはそういう評価をしていったっていうところもあるけど、反対は収まってません。

高橋秀之委員長

ほかにありませんか。

(一同無言)

ないようですので「株式会社ユーラスエナジーホールディングスによる地域貢献について」の件は以上とします。

調査事項は以上となります。

次に、3のその他ですが、皆さんから何かありませんか。

早坂総務企画課長

その他ということで、総務企画課の方から皆様方にちょっとお願い事項ということで、ちょっと若干説明させていただきたい事項があります。

既に議員の皆さん御存じのことと思いますけども、近々、衆議院が解散されるというような旨の情報が入ってきております。

詳細につきましては週明けになるというような見込みでありますけども、衆議院解散ということになれば当然、町の選挙執行のための予算が必要となるということもありますので、今のところちょっと解散する日、現在では恐らく1月23日になるんじゃないかと思われましても、それを想定してその日に選挙経費に係る補正予算の方を専決処分ということとさせていただきたいというふうに今のところ考えております。

予算額につきましてはおよそ300万程度になると見込みでありますけども、当然、国政選挙ですので100%国からの負担で行われるということになりますので手出しはないというような状況になろうかと思えます。

本来であれば補正予算議決頂くということが正規な形ではありますけども、ちょっと投票開票が2月8日若しくは15日ということで、ちょっと解散からの日付もなかなか短くてまた冬季間の選挙ということで、夏場とちょっと、なかなか違う準備が必要ということもありますので、できるだけ早めの予算措置が必要になるということもありますので、今回、臨時議会を招集する時間的な余裕もないということから、専決処分で対応させていただきたいというふうに考えておりますので、まずちょっとこの場で御了解を頂きたいなということで考えております。説明の方は以上となります。

高橋秀之委員長

以上そういうことで。質問いいですか。

(一同無言)

したら、承諾したということで。

梶総務企画課長補佐

その他ということで口頭での連絡で大変恐縮なんですけれども、二つございまして、一

つ目、ポケふたの設置です。

12月議会、深澤議員の質問もございましたけれども、ポケモン社との設置の調整が完了しまして、明日お披露目したいというふうに考えております。

本日、再度トナカイ牧場での設置作業、あれはレプリカなんですけれども、本物のふたの設置作業段取りして、町民向けには告知端末機により今日の夕方等々でお知らせしたいと考えております。

続きまして、日本ハムファイターズの応援大使プロジェクトというものが過去にもあったんですけれども、今年、2026年シーズン留萌振興局と宗谷総合振興局管内の計18市町村を対象として、ファイターズによる応援大使プロジェクトが展開されます。

こちらの具体、直筆さん入り、背番号ユニフォームの寄贈ですとか選手の肖像、ロゴマークの活用、あとは、これももう既に終わったんですけど成人式のアトラクションの方で、達投手のお祝い動画の上映ですとか、あと選手との交流会、選手による小学校訪問、観戦ツアーなどが今年2026年シーズンで予定されています。

以前は幌延町に対して横尾選手と石井選手という2選手が応援大使ということで割当てだったんですけれども、コロナ禍を明けて、令和5年からこの応援大使プロジェクトがリニューアルされて、選手が誰かどこか町に付くわけではなくて、今回対象となった留萌、宗谷総合振興局管内に対して、球団全体でバックアップするというような取組となっているため、今回はたまたま万波選手のユニフォームが来たんですけれども、例えば選手との交流会も、今度は万波選手ではなくてどなたかが来るとか、そういった仕立てになっています。

2月にも、今度、子供園とか小学校への訪問の募集の取りまとめがありまして、希望は出しているんですけども、結果的にどうなるかというのまだ結論は来ておりません。

簡単ですが、以上となります。

高橋秀之委員長

以上で、第1回まちづくり常任委員会を終了します。

ありがとうございました。

(13時54分 閉 会)

以上、相違ないことを証するため署名する。

委 員 長 高 橋 秀 之

以上、記録する。

事 務 局 長 岡 田 英 樹